



車両が走らない
夜中の数時間に
全力投球する

作業の内容を軌道工事管理者の三浦さん(右)と確認する。真剣な表情の畠山さん(中)と佐々木さん

product

安全な鉄道輸送のため
軌道の維持・整備に努める

鉄道輸送は何より安全が優先される。木村工業は高い技術力を誇り、列車の通らない、夜中の数時間で作業を手際よく行う。社員一人一人が役割を着実にこなしていく。

軌道バックホウの
操作を頑張って
習得しました！



1977年に事業をスタート
高い技術力を守るため
万全の研修体制を敷く

株式会社木村工業は1977年8月の創業。東北新幹線の大宮～仙台間の軌道新設工事、軌道メンテナンス工事に従事したことから事業は始まっている。東日本旅客鉄道株式会社のパートナー企業でもある、仙建工業株式会社と取引のある軌道関係協力会社で作る組織「みちのく軌道会」に参加し、JR東北本線や仙台市地下鉄南北線、東西線の整備を請け負っている。東日本大震災後の鉄道復旧工事も力を尽くし、JR仙石線の野蒜高架橋の架設や、軌道敷設も木村工業の仕事だ。

技術の確かさは広く知れ渡り、多くの信頼を集める。その技術力を維持、向上させるための研修・教育体制は万全に整えられている。



仙建工業が有する総合研修センターなどで、個別の研修を行うことはもちろん、同じみちのく軌道会の参加企業とも、必要に応じて共同の研修会などを実施している。社員への資格取得の推奨も熱心に行っており、軌道部であれば、軌道工事管理者、土木部であれば、土木施工管理技士、建設機械施工管理技士といった資格取得に多くの社員が励んでいる。昨年は土木施工管理技士で、1級に1人、2級に4人が合格した。

そうした木村工業で入社14年目となった畠山亨さんと、入社6年目の佐々木鷹胤さんは同じ軌道部の仲間として、互いに切磋琢磨する日々を送っている。毎日の作業に全力を尽くしている2人は、他県の現場で作業に従事することもある。

仕事
図鑑 #02
ACE.

株式会社木村工業(石巻市)
軌道部工事担当
佐々木鷹胤さん(24歳) 写真右
Takakazu Sasaki

畠山亨さん(35歳) 写真左
Toru Hatakeyama



任された役割をやりきる
安全な鉄道の維持に
全身全霊を傾ける

株式会社木村工業は軌道部と土木部を持つ、鉄道に関する工事のプロ集団だ。土木部は一部、一般土木工事も手掛けるが、やはり実績が高いのは鉄道土木工事。軌道部は軌道の新設や補修工事を担う。JR東北本線や仙台市地下鉄は木村工業によって整備されている。

佐々木さん(右)が軌道バックホウのオペレーター、畠山さんが誘導員として、コンビで仕事を行う



社会に必要な線路整備に
誇りややりがいを感じる

高い緊張感と強い責任感を持って作業にあたる
ミスの許されない仕事であり、作業中、一時も気を抜ける瞬間はない。
自身の役割を全うすることに集中する。



どう作業するか
指示するのが
誘導員です

3カ月の出張に向け3日間の研修受ける
軌陸バックホウの操作を習得し
任された役割を確実にこなします(佐々木さん)

この出張で佐々木さんは軌陸バックホウのオペレーターを任された。そして、佐々木さんを誘導するのが畠山さんだ。佐々木さんが軌陸バックホウの操作を担当するのは初めて。出張前には、仙建工業の総合研修センターで3日間目いっぱい、畠山さんの誘導を受けながら操作の訓練を行った。「決して簡単ではありませんが、任された役割ですので確実にこなせるよう、しっかりと操作の仕方を身に付けたいと思います」と佐々木さんは引き締まった表情を見せた。

一方の畠山さんも「誘導員の誘導でオペレーターはバックホウを動かすわけですから、コミュニケーションを適切に取りながら、分かりやすい指示を心掛け、佐々木くんをサポートしたいと思います」と意気込む。

11歳の年の差があり、これまで二緒の作業はあまりなかったという2人だが、馬は合う様子。冗談を交わす姿も見られる。2人の上長である三浦祐也さんは「いいコンビになってくれれば」と期待を寄せる。

がむしゃらに仕事に励んできた
列車運行に支障をきたしてはいけない
自分のやることに集中します(畠山さん)

仕事をしてきた中で、畠山さん、佐々木さんが口をそろえるのは「目の前の作業にがむしゃらに取り組んできた」ということだ。「列車

が走るまでの限られた時間しか与えられていないわけです。迷う暇はありません。自分のやることにとにかく集中してやってきました」と話す畠山さんに対し、軌道部に移ってまだ2年目の佐々木さんは「自分の仕事をどう進めればいいのか、分からないことがあれば、ためらわずに先輩たちに聞くようにしています。自分が手間取って、皆さんに迷惑をかけることだけは避けたいです」と語る。

2人に仕事をしていての喜びについて聞くと、「ミスなく、すんなり終わられるとヨシって感じになります(畠山さん)。「やり遂げて得られる達成感が気持ちいいです(佐々木さん)」と答えてくれた。そして最後に、今後の目標を問うと、ここも意見が一致。「とにかく安全を心掛け、けがなく仕事をしたい。畠山さん、佐々木さんが鉄道の安全を守ってくれる日々は続く。」



ハとぎに2人だけのミーティングで意思疎通を図る



V効率よく、短時間で作業をするために打ち合わせは入念に行う

教えてください! ACEの仕事ぶり

線路整備の仕事は奥深い
慢心せず、謙虚に
腕を磨いていってほしい



上司に
聞いてやりました!

軌道部次長
三浦 祐也 さん Yuya Miura

われわれの仕事は、覚えることが実に多い。私も20年以上この仕事に携わっていますが、まだ覚えることだらけというのが実情です。畠山くんは入社して14年、現場のことをよく理解していて、頼もしい存在です。佐々木くんは土木部から移って2年目ですが、明るい性格で、覚えも早く、既に軌道部になじんでいます。列車が走らない夜中から明け方しかできない仕事で、かつ、与えられた時間内に必ず終わらせなければならぬ。焦るなどいうのも無理な話なのですが、平常心を失うとけがにつながります。これからも何より、自分の身を大事にして仕事に励んでもらえればと思います。

センパイから!
未来のACEへ!

興味のあることをまずやってみる(佐々木さん)
友人、知人の情報も大切です(畠山さん)



とにかく、列車運行に影響を及ぼさないよう目の前の仕事に全力を尽くしてきたという畠山さん(左)と佐々木さん

土木の仕事に興味があった出合ったのが木村工業でした。入社が決まるまでもスムーズでした。自分は何に興味があるのか、考えておくことが就職活動に生きました。就職後は、まず目の前の作業を精いっぱい頑張ることが大事だと思います。(佐々木さん)

前の仕事を辞めて、何をするか模索していたときに、当時、木村工業で働いていた友人から誘われて、入社に至っています。もう14年も働いているわけですから、その友人には感謝がありません。やっぱり人とのつながりは大きな助けになります。(畠山さん)

DATA

株式会社木村工業

所在地/石巻市鹿又字学校前149(本社) 塩竈市越ノ浦1-5-2(仙台営業所) 代表取締役社長/木村 明美
資本金/2,000万円 設立/1977年 従業員数/81人(2021年8月現在) 事業内容/鉄道軌道の工事・土木工事
経営理念/「私たちは、一人ひとりが自らの心に従い本当の安全を目指します」など7条
TEL 0225-90-4521 <https://www.senro-shigoto.com/miyagi/04.html>



社会貢献度の高い事業で
技術力を背景に大きな信頼を獲得